

安比地熱発電所設置計画に係る環境監視結果（2023 年度）

「安比地熱発電所（仮称）設置計画 環境影響評価書」に基づき実施した、2023 年度の建設工事期間中の環境監視の結果は、以下の通りです。

環境要素	監視項目	実施内容
大気環境	工事関係車両等の運行状況	工事区域に入構した工事関係車両の台数は、2023 年 8 月が最大となり、その数は 115 台/日でした。
水環境	温度、湧出量、泉質（温泉成分）	今年度 9 月以降、一斉噴気試験および発電所試運転が実施されましたが、周辺温泉（草の湯・新草の湯）の温度、湧出量、泉質（温泉成分）に大きな変化は確認されませんでした。新草の湯の湧出量は、2022 年度夏季に発生したがけ崩れにより、新草の湯を含む周辺地形が変容したことにより、一定の変化が確認されていましたが、今年度は大きな変化は確認されていません。 また、今年度 9 月以前の周辺温泉においても、温度、湧出量、泉質に大きな変化は確認されませんでした。
生態系	ノスリの生息・繁殖状況	営巣期にあたる 4～7 月に、ノスリの行動を計 61 回確認しました。新たに確認した巣において繁殖活動を行い、繁殖は成功したとみられます。なお、設置した進入用道路周辺では狩り行動も確認しました なお、専門家の助言のもと、本調査を実施しております。
	オオジシギの生息・繁殖状況	繁殖期にあたる 5 月及び 6 月に、オオジシギを計 76 回確認しました。その確認状況から、オス 11 個体が生息していると考えております。2016 年度以降の確認個体数は 4～8 個体であり、これまでで最も多くの個体を確認しました。 なお、専門家の助言のもと、本調査を実施しております。
廃棄物等	廃棄物の処理状況	建設工事に伴う産業廃棄物は約 1,004 トン発生しました。発生した産業廃棄物のうち、約 802 トンを有効利用しました。主な有効利用の方法としては、金属くずを金属として、熱水ピット内汚泥を再生土として再利用しました。 有効利用が困難であった残りの約 201 トンは、法令に基づき適切に処分しました。 ※数値は、小数点以下を四捨五入しています。

<お問合せ先>

安比地熱株式会社

〒028-7111 岩手県八幡平市大更第 20 地割 127 番地 1

TEL : 0195-68-7332 FAX : 0195-68-7336